

(様式1)

[年度] 平成30年度和歌山県農林水産試験研究成果情報

[成果情報名] カンキツ新品種の育成

[担当機関名] 果樹試験場栽培部

[連絡先] 0737-52-4320

[専門分野] 果樹

[分類] 普及

[背景・ねらい]

ウンシュウミカンをはじめとするカンキツ産地の活性化を図るためには、技術対策と並行して新品種の育成が求められます。本県では果樹農業振興計画にカンキツ新品種の育成を掲げ、オリジナル品種育成を目指しており、本研究においては珠心胚実生の育成（以下珠心胚育種）で有望な極早生ミカン、枝変わり探索で成熟期の遅い極晩生ミカンの選抜育成に取り組みました。あわせて、これまでに選抜した食味の良い中晩柑‘はるき’および浮皮の少ない晩生ミカン‘植美’の品種登録を目指しました。

[研究の成果]

#### 1. 珠心胚育種、交雑育種による新品種育成

1) すでに県内で普及している極早生ミカン‘YN26’と比較して、さらに着色が早い極早生ミカン‘YN65’を珠心胚育種により育成しました。また、普及性の検討のため、平成29年に県内JAに協力を呼びかけ、6か所の試験園地を設置しました。

2) 3月に成熟する食味の良い中晩柑‘はるき’を交雑育種により育成し、品種登録出願を行いました（平成31年3月22日出願公表）。

#### 2. 枝変わり探索による新品種育成

1) 既存の晩生品種より果皮の成熟が非常に遅く、浮皮がほとんど発生しない極晩生ミカン‘25-2’を選抜し、育成地（有田郡湯浅町）以外においても同様の性質を示すことを明らかにしました。現在、果実、花、枝梢について特性調査を行い、登録出願の準備を進めています。

2) 浮皮の少ない晩生ミカン‘植美’について、品種特性を調査し、登録出願の支援を行いました（平成29年8月18日出願公表）。

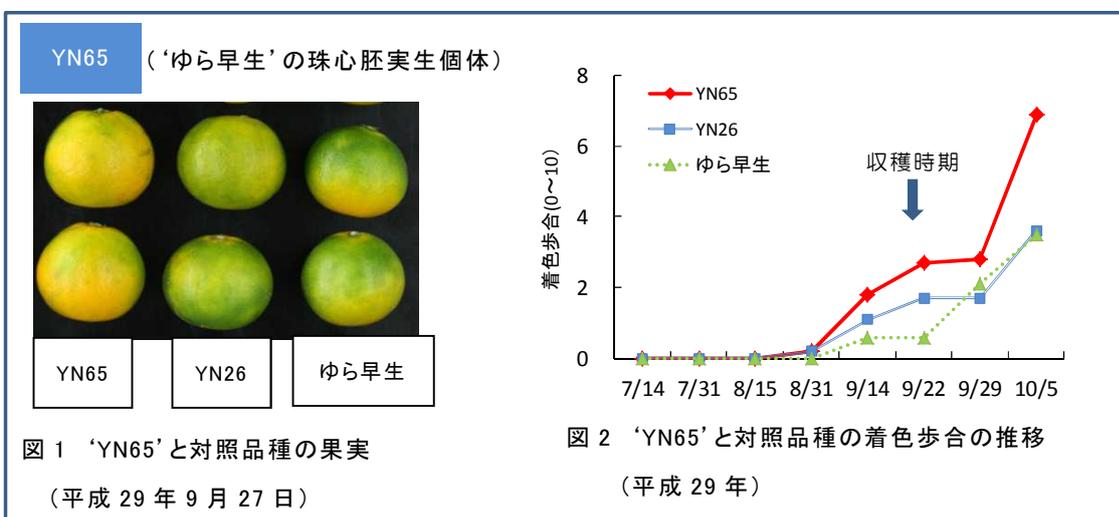


図1 ‘YN65’と対照品種の果実

(平成29年9月27日)

図2 ‘YN65’と対照品種の着色歩合の推移

(平成29年)

はるき（‘清見’と‘中野3号ポンカン’の交雑個体）



図3 ‘はるき’の果実  
(平成28年1月20日)

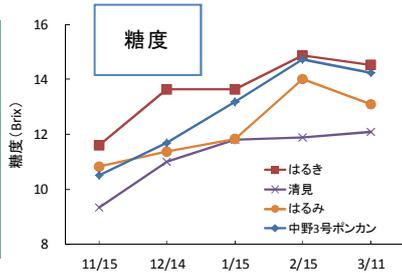
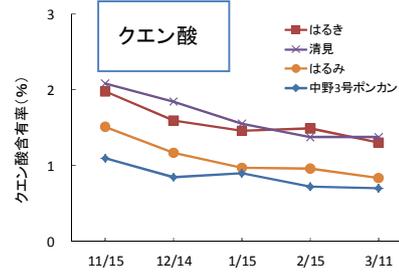


図4 ‘はるき’と対照品種の果実品質の推移  
(平成30年11月～平成31年3月)



25-2（‘興津早生’の一樹変異個体）



図5 ‘25-2’の果実  
(平成31年1月16日)



図6 ‘25-2’と対照品種の果実  
(平成31年1月8日)

植美（‘尾張系’の一樹変異個体）

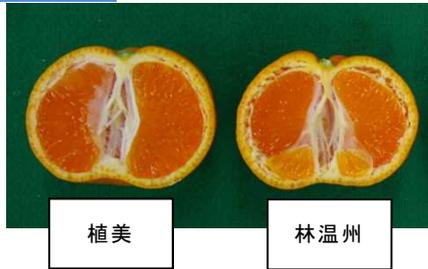


図7 ‘植美’と対照品種の果実  
(平成27年12月8日)

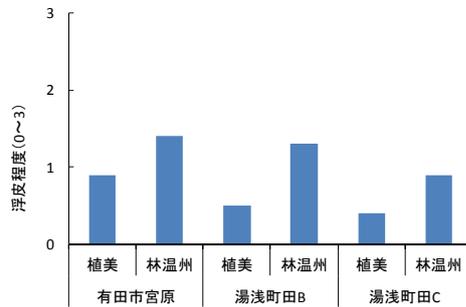


図8 現地高接ぎ園地における浮皮程度の比較(平成28年12月8日)

[成果のポイントと活用]

1. ‘植美’は令和2年、‘はるき’は令和3年から、県果樹育苗組合加盟業者より苗木が販売される予定です。
2. ‘YN65’、‘25-2’は普及性を検討するため、現地適応性試験を実施中です。

[その他]

予算区分：県単（農林水産業競争力アップ技術開発事業） 研究期間：平成28～30年

研究担当者：田嶋皓・水上徹・古田貴裕・宮井良介・岩倉拓哉

発表論文等：なし

ホームページ掲載の可否：可